

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぶらす吉川美南校		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		～ 2024年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援中においても職員同士の連携が取れている	レッスン前に活動内容や最近の生徒の様子、その他事務等の共有を行っている	
2	・生徒対応やその他対応については職員で相談をし合い改善できるようにしている	ケース会議を行い支援計画についての理解を深めている	日々のレッスンを通して生徒の興味や好きなものを活用しながら楽しめるようなレッスンを提供できるように職員間で協議してる
3	職員自身が負担にならないような業務の効率化	業務の担当化やひと月で取り組む内容を紙面化し誰がどの作業を行うかを把握している。また、確認する担当もつけながら業務の抜けが無いかを確認している。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・玄関の鍵の安全管理を徹底し離脱(飛び出し)が無いように各々が全体の状況把握できるようにする	・鍵の位置が児童が開けることができる高さにあること(離接のリスク)	・可能な限りの環境設定や利用児に合わせて職員の配置などを行っています
2	・今以上に職員のスキルアップ	・身体のこと、心のことなど専門的な講師のもと研修を受けて知識をもっと深める機会が必要	
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ネイスぶらす吉川美南校		公表日		2025年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	児童の手が届く位置、もしくは簡単に外から鍵が開けられる状態なので職員室、相談室の施錠方法は工夫した方が良いと感じる。運動器具など含め、使用しないものは指導員の部屋に閉まってなるべく刺激の少ない環境を作っています	子どもが開ける高さに鍵があるため手の届かない所にもう一つ鍵を付け足す等の改善も必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	職員のスキルや来所の児童によって、制度に則してシフトの調整をおこなっています。その日の子どものメンバーや出勤している指導員の人数を考慮しながら、活動内容を考えています	制度上配置を満たしているが状況に応じて物理的に人員が欲しい状況があるため安全面が確保できるような環境設定を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	設備上器具庫がないので、必要なもの以外は指導員の部屋に入れ安全面に配慮を行っています 玄関の鍵が届く位置にあるため、保護者へのフィードバックで玄関のドアの開け閉めの際に飛び出しのないよう指導員同士声を掛け合うことを気をつけています	必要に応じて簡易的なスロープの配置など対策します
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	朝礼後に整理と器具等の消毒を徹底しています	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	子どもの主張によって柔軟に対応しています 相談室等をクールダウンなどに活用しています パニックになった際や視覚的な情報を受け取りやすい子など、落ち着ける部屋や場所で過ごせる環境を作っています	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	毎月の業務内容については担当制とし各々が授業構成や事務作業など内容や期限に沿ってスケジュールを組みながら取り組めるように工夫しています ケース会議などを通じて、全員参加で協議している。また、環境整備などの構造化の提案、実施、検証など手順を踏んで行なっています 日々のレッスンの前に情報共有を行ったりレッスン後の指導員の支援のフィードバックを行ったりしています	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	通所時のフィードバックや面談時、メッセージでのご連絡において保護者様のご意見等を頂きながら朝礼時などで共有しながら改善できるよう取り組んでいます 可能な範囲で頂いた意見を実施している。もしくは対応方法を保護者へご連絡しています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	コミュニケーションの中での意見を拾いながら業務の効率化や改善を図っています また、事務作業等についてはチーム制も設けながら職員間でコミュニケーションを取りながら作業効率上がるような機会を設けています 事業所内では、出た案に対して協議し実施しています	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	内部監査では特段指摘などはなかったが、教室内の整理整頓は常時心がけていきたい	第三者の評価も健全な運営の為に必要なので社内で協議し必要に応じて実施します
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月初会議で定期的な本社からの研修を受けています	教室内での研修機会は多いが、外部の研修には参加する機会が確保されていないため外部の研修にも参加できるような改善が必要だと感じる 社内で行なう研修では、制度、法的根拠の解釈等の相違などが見受けられるので、今後、知見を深め改善していく必要があると感じる 外部からの専門的な講師の研修を受講させてもらう機会がありましたらなおありがたいです

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	年間のスケジュールを公開している。個別支援計画を保護者に説明した上で、日々の様子も分かりやすいよう活動記録でお伝えしています
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	必ず事業所の職員が全員目を通せるようにしている。解釈と検証、結果をその日の記録で記入しています アセスメントは日々行うよう心掛けています
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	必ず全員が参加できる、もしくは共有を受けて実施しています 個別支援計画を作成・更新する際には全職員でケース会議を行い共有しています
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	来所前に支援計画を確認して、受け入れていきます 利用があれば短期目標に対しての評価、行ったこと、解釈、必要であれば次の一手を記録に残しています 共有の元、指導員同士で日々フィードバックを行いながら支援に努めています
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	Wisc等の検査結果を共有いただき、個々の特性た凸凹を把握しやすいようにしています
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	専門用語は極力使用せず、職員全員が同じ認識で実施できるよう、5領域に対応して作成しています
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	業務前の共有時間を設け各担当からの活動内容の共有やその他事項による共有を行っています 朝礼で意図と全体像の共有を行ない、個々の子どもによって予想される行動と対応や支援について協議しています日々担当を決め、指導員同士で相談しながら活動のプログラムを行っています
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	季節ものに合わせた活動を取り入れながら利用児が楽しめる活動の提案等を行っています 季節のイベントや運動会の時期などによって支援の内容や取り組の時間等の設定をしています 子どもたちが興味のあるものを使用しながら、様々な活動に参加できるよう工夫しています
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	完全に個別の時間を取るわけではないが、必要に応じて職員がマンツーマンで対応する場面もある。その際は他の児童にも公平性が保てるように配慮している 利用のコマのメンバーを見ながら活動内容を決め、その子に合った対応ができるよう職員間で共有しています
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	共有の時間を業務スケジュールに組み込み、必ず行えるよう仕組化しています
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	退勤時間までに事務作業など余裕がない日については次の日の共有時に回している 気になった点をそのままに児童の振り返り、指導員の対応についてのフィードバックを行なっています
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	業務日報に当日の取り組みなどを記載している 必ず評価をして次も支援に引き継いでいます
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	更新時期をまたず変化がある場合はそのタイミングで更新しています
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	セルフプランでの利用者が多いため、適宜実施としている 日程等柔軟に対応している
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	関係機関の施設の方の見学や共有の時間を必要に応じて設けています	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて共有しています	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	本人の特性等を書面にすることや、共有の機会を設けています	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		現状実施の機会はございませんが利用者のご兄弟の参加は度度かあます
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	必ず送迎時にフィードバックを行ない、様子の共だけにとどまらず、行動の意図や支援の狙いをお伝えしています		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	適宜ペアトレを開催しています 保護者に研修テーマの希望の確認を行ない定期的に実施しています		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	体験時や契約時にお伝えしています 契約時に説明を行ない、契約後も質問があればその場でご説明しています	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	必ず面談を設け、同意を頂いています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	必ず説明の面談を設けて同意を頂いています	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	適宜実施しています ご希望があれば日程を調整して面談を行っています	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	ペアレントトレーニングなどを介し実施しています	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	メッセージでのご連絡については営業開始後にすぐに確認し当日中にご回答や利用時に説明等を行っています。可能な範囲で近日常に、相談の機会を実施しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	アプリ等を使用して行なっています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	書庫で保管し退勤時には鍵をかけています 書庫の施錠や伏字など第三者が情報に触れないように工夫しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	会話だけでなく、ツールなどを使用して表出しやすい方法を使用しています	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		ご希望や必要に応じて柔軟に対応します
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		作成されているマニュアルが会社にはないものもあります 緊急時、防犯等の訓練は事業所内で定期的に行なっています
46		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	非常災害等の訓練を定期的に行なっています	

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	メッセージや来所時に保護者様からお伝えがあれば職員間で共有をしています 契約前に必ず確認し、発生時の対応手順を保護者と確認しています	
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	事前にアレルギー等確認を行っています	イベント時にお菓子を渡すことはあるが食事提供はしておりません
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0		器具など高所に登れる道具が多いので、定期的に全体での研修が必要だと感じます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難経路や緊急時の連絡方法などを通知しています	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが悪いものではなく、重大事故につなげないために報告は積極的に行なうものとしています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	厚労省の虐待防止マニュアルを軸に事業所ないで研修を行っています	社内研修では障害特性や法的根拠の関連性が低いので改善が必要だと感じます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	該当児童がない為、記載はしておりません 児童の行動を言語化し、静止する際の状況や致し方ない場合の説明をし保護者に同意を頂いています	